

Kyoto Building Maintenance Association News No.88

公益社団法人 京都ビルメンニュース 第88号

発行日/2020年1月1日 発行所/公益社団法人 京都ビルメンメンテナンス協会



● 新年のごあいさつ

● 2020年 京都ビルメンメンテナンス協会 新年賀詞交歓会開催

● 第39回 全国障害者技能競技大会（アビリンピック）

京都代表 藤井優気選手 銀賞受賞!!

CLEAN CREW



夢や希望を実現できる年に

京都府知事 西脇隆俊

新年あけましておめでとうございます。

府民の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返って

昨年は新天皇が即位され、平成から令和へ、新しい時代が幕を開けました。令和という元号には「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という願いが込められています。日本文化の中心である京都府として、府内の多様な地域文化を世界へ発信していく務めを改めて自覚する契機ともなりました。

振り返りますと、6月のG20大阪サミット、9月のICOM(国際博物館会議)京都大会、そして先のラグビーワールドカップ2019日本大会と、折々に多くの観光客の皆さまにお越しいただき、世界中から日本が、そして京都が目目される一年でありました。さらに、京都大学ご出身の吉野彰氏がノーベル化学賞を受賞され、2年連続で京都ゆかりの方が栄誉に輝くという大変うれしい出来事もございました。

一方、京都アニメーション第1スタジオの放火によって多くの方々が亡くなるという大変痛ましい事件も起こりました。衷心よりお悔やみを申し上げますとともに、今なお治療を続けておられる方々の一日も早いご回復を祈念申し上げます。京都府といたしましても、引き続き、被害者やご家族の皆さまに寄り添った支援をまいります。

「京都夢実現プラン」始動

われわれが置かれている社会情勢を見渡すと、少子・高齢化と人口減少の本格化に加え、グローバル化の進展によって国際情勢の変化がわれわれの生活にも直接影響を及ぼす状況にあります。また、頻発する自然災害など多くの課題が横たわっています。これらに対応するため、京都府では昨年10月、府政運営の指針となる新しい京都府総合計画「京都夢実現プラン」を策定いたしました。

この総合計画は、「一人ひとりの夢や希望が全ての地域で実現できる京都府」という2040年の将来像をめざし、行政分野や地域ごとの具体的な取組方策等を定めたものです。府民の皆さまや地域、企業などと共に取組を進め、総力を結集し、めざす将来像の実現に向け果敢にチャレンジしてまいります。



京都の潜在力を生かすために

本年は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(以下「東京2020」)が、そして来年にはワールドマスターズゲームズ2021関西が開催されます。こうした機運の中、府内初となる専用球技場「京都スタジアム」が完成し、迫力のあるスポーツイベントを臨場感いっぱい楽しんでいただけるようになりました。同スタジアムを京都府中北部地域へのゲートウェイとして地域活性化を図るとともに、スポーツを通じて関西一円を元気にしてまいります。そして、東京2020の開催に合わせ、日本の美を体現する「日本博」が文化庁主導のもと全国で開催されます。この機会に京都府では「京都文化力プロジェクト2016-2020」の総仕上げとなる総合的な文化の祭典を開催するほか、2021年度を目途とする文化庁の本格移転を見据え、文化の保存、継承、創造、発展にも力を注ぎます。

また、伝統産業とその技を生かした新技術、観光・文化産業、ハイテク産業が三位一体となり、さらに大学等が集積した京都の潜在力を大いに発揮することが求められます。京都経済百年の計となる「京都経済センター」を核に、起業から成長支援、海外展開、人材育成まで、イノベーションが起こり続ける事業環境の創造を進めてまいります。

共に、新しい時代へ

こうした取り組みの源は人にあります。就任以来、一貫して進めてきた「子育て環境日本一」の実現に向け、2040年までに全国平均並みの合計特殊出生率を達成するべく「子育て環境日本一推進戦略」を策定しました。この目標の達成は容易なことではありませんが、「水滴石を穿(うが)つ」と申します通り、粘り強く取り組んでまいります。今年は、十二支の始めである子(ね)年。『漢書』律曆志によると、新しい生命が種子の中に萌(きざ)し始める状態を表しているとされています。この新しい年を、府内全ての地域が活力にあふれ誇りを持てる、新しい時代の京都を築き上げるための第一歩とするため、共に歩んでまいりましょう。

今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

「世界の京都・まちの美化市民総行動」

令和元年11月4日(月・祝) 13:30～ 梅小路公園

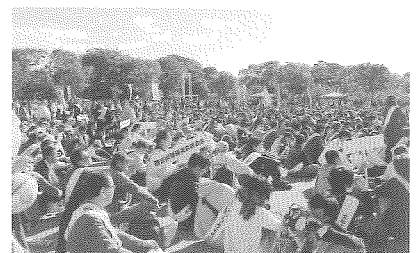
11月4日(月・祝)、22回目の開催となる「世界の京都・まちの美化市民総行動～楽しくきれいを広げよう～『京都・まち美化大作戦』」が、秋晴れの空の下、梅小路公園にて開催されました。

開催にあたり門川市長より「京都に来られる外国からのお客様へのアンケートによると、京都は清潔で美しいまちという評価をいただいています。まちをきれいにする文化が地域に根付き、幅広い年代の方々が日頃から取り組んでくださっているから、美しい京都のまちを維持できていると言えます。これからも美しいまちづくりのために、取り組んでいきたいです」とお話しがありました。

この日、まちをきれいにしたいという思いで集まった人たちは、145

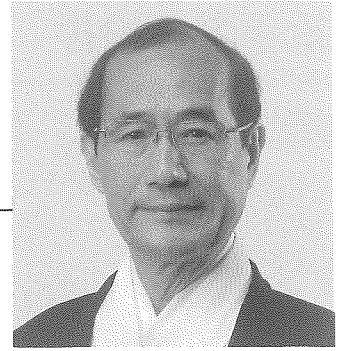
団体2,500名以上にのぼるそうです。清掃活動、街頭啓発、パレードの3チームに分かれて活動し、京都ビルメンテナンス協会はパレードに広報委員会と事務局と共に、参加しました。消防音楽隊の素晴らしい演奏を先頭に、梅小路公園芝生広場を出発し、大宮通りから七条通り、梅小路京都西駅前までの道のりを、まちを美しくしたいという思いを込めて行進させていただきました。これからも京都が美しいまちでありつづけるため、当協会もより一層の活動を行っていきたく考えています。

記事：高寄(広報委員会)



笑顔あふれる京都を共に！ 京都の強みである市民力・地域力・文化力を 更にいかして！

京都市長 **門川 大作**



あけましておめでとうございます。

皆様の常々の御指導・御支援に心から感謝し、この一年の御多幸をお祈り申し上げます。

市長就任以来、現地現場主義に徹し、お訪ねした1万を超える現場・市民の皆様の御活動の場で、改めて京都の市民力・地域力の素晴らしさに感動、感謝。皆様のお声を市政にいかし、厳しい財政の中でも、いのちと暮らしを守り、福祉、子育て・教育、文化、環境、景観、経済の活性化、防災・安心安全を最優先に、皆様と共に汗する「共汗」で挑戦し続けてまいりました。

お陰様で、例えば、ごみ量はピーク時から半減。国基準の1.3倍の優れた保育士を確保し、保育所等6年連続待機児童ゼロ。小中高の教育を充実。市内の犯罪は5年間で45%減と過去最少。京都経済百年の計「京都経済センター」をオール京都で開設し、中小・地域企業を応援する条例を制定、支援体制を拡充。

民間で実施する方が良い仕事は民間に行財政改革の断行！市職員を3,300人削減、年間270億円の費用を捻出し、市民の皆様にお約束した政策・公約を実現！（国の交付税の大幅削減、去年の災害対策、福祉予算増等により財政は厳しい状況）

これらの結果、京都市が、「誰一人取り残さない」社会を目

指す国連の「SDGs」先進度

や都市力の総合評価（2年連続）で全国1位に。そして、市内の雇用者数は5年間で5.7万人（うち正規雇用4.2万人）増、市税収入は6年間で246億円増など、未来に明るい兆候！市民の皆様のお力の賜物と心から感謝しています。

一方、観光消費額が1.3兆円（京都市民の年間消費支出の52%に相当）を突破した観光面では、「混雑」「宿泊施設の急増」「マナー対策」など新たな課題も。違法民泊は99%を営業中止・撤退させ、さらに市民の安全安心と地域文化の継承を重要視しない宿泊施設は「お断り」するなど、市民生活を最重要視した持続可能な観光へ、皆様と共に50の取組を徹底します。

新たな年を迎え、京都のまちをより安全安心に、より豊かに発展させていくべく全身全霊をかけて取り組む決意を新たに。

京都市京セラ美術館の再オープン、文化庁の京都への全面的移転や京都芸大の移転も見据え、文化・科学、地域力・人間力などあらゆる京都の強みをいかし、新産業の創出や、社会課題の解決を目指した「スタートアップ・エコシステム」構築へ！それらを市民生活の豊かさにつなげ、「世界の文化首都・京都」への飛躍を目指し、市民の皆様と共に全力を尽くしてまいります。

令和元年度 「第1回定例会議」開催

令和元年11月5日（火）13:00～ 京都ビルメンテナンス協会

去る11月5日（火）、京都ビルメンテナンス協会令和元年「第1回定例会議」が、多数の会員にご参加を頂き開催されました。下坊総務厚生委員長の司会にて、藤井会長より、日頃の協会事業への協力に対するお礼と会員増強へのお願いも含めて挨拶されました。次に京都グローバルトレーニングセンターとして山下副理事長より外国人技能実習生受け入れのための監理団体が法務大臣と厚生労働大臣から8月7日にて許可が降りたとの報告がなされ、京都協会として初めて受け入れ希望三社にてハノイでの現地面接の予定を発信しました。

定例会では経営開委員会企画で川向委員長進行のもと、「ビルメンテナンス業界で活用すべき補助金助成金の徹底解説!」と題し、石黒健太税理士事務所の代表である石黒健太氏に働き方改革のポイントや新制度に関わる対応策、前知識としてビルメ



ンテナンス業界が直面する課題についても具体的にお話いただきました。今回の講演では私たちビルメンテナンスの会社が今後、人材育成や人手不足、また社員満足を実践、解決していくうえで必要な資金を助成金・補助金として国のバックアップを受けながら進めていくことができることを教えていただきました。そして制度を利用することで会社の価値につながり業界の発展につながると感じました。

定例会議終了後は、賛助会員さんによる最新の商品やグレードアップした商品を紹介いただくミニミニ展示会が開催され、賑やかな雰囲気の中、開催されました。出展いただいた企業の皆さまご協力ありがとうございました。

【参加企業】

- ・ペンギンワックス（株） ・ユシロ化学工業（株）
- ・シーバイエス（株） ・（株）阪和 ・（株）万立 計5社

記事：山下（広報委員会）

新年のご挨拶

公益社団法人
京都ビルメンテナンス協会 会長 **藤井 忍**

あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては、新年をすこやかに迎えの事と心よりお慶び申し上げます。

又、協会員の皆様には平素より協会運営にあたり格別のご理解と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年は年号が平成から令和にかわり元年を迎えましたが、事業計画に基づき、一連の事業を無事滞りなく実施する事ができました事を、改めて御礼申し上げます。良い報告といたしましては、昨年11月に愛知県で行われました、第39回全国障害者技能競技大会(アビリンピック)に於いて、ビルクリーニング部門で京都府代表の藤井優気さんが見事、銀賞、全国準優勝という輝かしい成績をおさめられました。そして当協会がアビリンピックに携わり、8大会連続入賞となりました事を重ねて報告いたします。

今年はいよいよ東京オリンピックが開催されます。それに伴い全国ビルメンテナンス協会から選手村ハウスキーピング業務に関する応援要請の依頼も来ております。また、本格的になってまいりました外国人技能実習生受入れの件、私が切に願っております協会員の会員増強の件、人手不足の上に最低賃金の上昇と、ビルメンテナンス業界における経済状況は



まだまだ好況感が見えず、業界全体として問題が山積しておりますが、会員の皆様と力を合わせて乗り越えて行かなくてはならないと考えております。そして、一社でも新しい仲間を増やし、協会、業界を盛り上げていきたいと思います。

当協会に於きましては昨年は9社、新しい仲間に入会して頂きました。本当にありがとうございます。

さて、本年は「子」年です。鼠は沈む船を去るといわれており、「火事の前には鼠はいなくなる」、「鼠は災害や災いの前になるとそこからなくなる」ということから難を逃れるという意味があるようです。昨年のように台風や豪雨被害がないことを祈念致します。

新年早々お願いごとばかりで大変恐縮ではございますが、皆様のご健勝・ご多幸・ご繁栄を祈念致しますとともに、本年も格別のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

第6回「KBMAボウリング大会」開催

令和元年11月8日(金) 18:30～ ラウンドワン京都河原町店

11月8日(金)に、第6回「KBMAボウリング大会」が中京区のラウンドワン京都河原町店で開催されました。

当日は初冬の訪れを思わせる、寒さ厳しい日でありましたが、75名ものご参加を頂き、2フロアに別れ、ゲーム開始の場内アナウンスと共に、ゲームが開始されました。



ゲーム方式は1人2ゲームの個人戦で女性と65歳以上の方には1ゲーム

25点の加点があり、みなさん優勝をめざし、和やかな中にも、真剣な眼差しでプレーをされていました。

ゲーム終了後は、スーパードライ京都に場所を移し、総務厚生委員会下坊委員長の司会にて、藤井会長の挨拶、森田副会長の乾杯の発声により、交流会が開宴されました。

そして、和やかな雰囲気の中、成績発表が行われ、藤井会長より受賞者一人ひとりに賞品が手渡されました。また会長、副会長から賞品を提供頂き、特別賞として送られました。

そして、最後に長谷川監事の中締め挨拶で第6回KBMAボウリング大会は閉会となりました。

記事:安宅(広報委員会)



<成績上位>

1位	362点 藤井 孝輝 様 [株式会社オンリー]
2位	330点 出来 智子 様 [和光環境サービス株式会社]
3位	328点 石田 浩平 様 [株式会社鈴木メンテナンス]

外国人技能実習の監理事業始動!

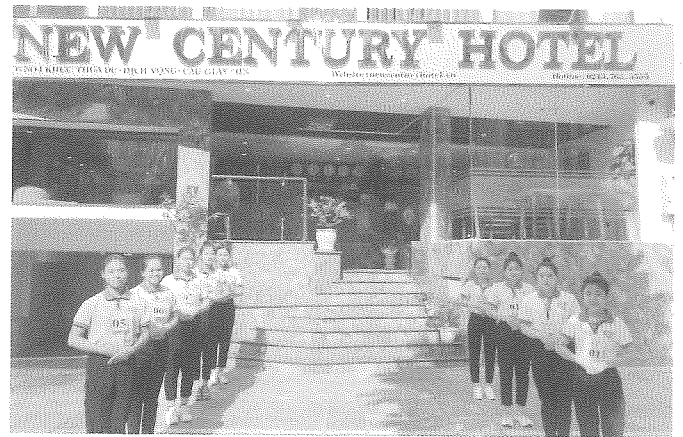
令和元年11月8日(金)～10日(日) ベトナム ハノイ

令和元年8月7日に法務大臣、厚生労働大臣から京都ビルメンテナンス協会が、特定監理事業の監理団体として許可を受け、会員の中から技能実習生受け入れの要請をいただき、11月8日～10日ベトナムのハノイにて現地での採用面接と送り出し機関・TQC日本語学校の視察に行き、当協会として初めての監理事業を始動致しました。

今回、会員企業で受け入れを希望していただきました近建ビル管理様はベッドメイク業務で3名の技能実習生を採用されました。都総合管理様2名、弊社双葉メンテナンス工業3名はビルメンテナンスでの日常清掃スタッフとして受け入れ採用をいたしました。

近建ビル管理様は9名の応募者の中から、都総合管理様、弊社は合計15名の中から採用を決定しました。ベッドメイクで面接選考では、現地日本語学校の近くのホテルを借りて、一人ひとりのベッドメイク実技を実際に見たのち、日本語学校の会議室に移動して応募者の自己PRと、日本で働く理由や意気込みを聞いて、慎重に採用していただくことができました。来日希望の応募者はとても元気で明るく、やる気に満ちた18歳から28歳の女性24名でした。それぞれの家庭環境や日本に来る理由があり、生活と人生をかけて来るだけに私たちも選考には真剣に悩んで選考しましたが、各社にとって採用を告げた後はホッとした安堵の表情になりました。各社、京都協会としてもとても良い縁ができたと思います。

11月のハノイは季節も良く、年中真夏の蒸し暑いホーチミンとは違い、涼しく快適に過ごすことができました。当協会担当送り出し機関のタイさんからベトナムの社会情勢や、歴史などたくさん情報交換ができたことも収穫となりました。帰国日は世界遺産のハロン湾まで少し足をのばしベトナムの広大な美しい自然と文化を感じ無



事帰国いたしました。

採用された8名の技能実習生はこれから現地日本語学校で引き続き、日本語の訓練はもちろん日本の法律や、生活習慣、マナー教育など日本で活躍するための勉強をし、およそ半年後、京都に来ることになります。またその際には改めて情報提供させていただきます。

今回の監理団体事業の始動にあたり、これまで会員の皆様にご協力賜りありがとうございました。この紙面にて御礼申し上げます。

※技能実習生の受け入れには京都府知事登録、1号建築物清掃業の事業登録が必要です。京都協会でも事業登録のお手伝いをさせていただきますので、詳しくは事務局までお問い合わせください。
記事:山下(広報委員会)



「全国アビリンピック京都府代表選手 練習会」

令和元年11月11日(月) 13:30～15:30 京都ビルメンテナンス協会 講習会場

2019年11月15日(金)から17日(日)まで第39回全国障害者技能競技大会(アビリンピック)が愛知県国際展示場にて開催されます。今回は京都府代表の楠本あやのさんが、見事銀賞を受賞され京都府のレベルの高さを示されました。

今年も金賞を目指して京都府代表に選ばれた選手の練習会が京都ビルメンテナンス協会 講習会場にて13時30分から実施されました。公益事業委員会の山崎副委員長がマン・ツー・マンで最終チェックの指導をされるなか、藤井会長も来られ、審査員席を設

けて本番さながらの緊張感で最終仕上げとなりました。

課題項目は「繊維床清掃」(7分)で真空掃除機による除塵作業と「弾性床清掃及び机上清掃」(10分)でダスタークロスによる除塵、モップによる水拭き、そして机上拭きです。

練習通りに作業をすれば、結果は必ずと付いてくると思います。

頑張っって良い結果が出ることを心より祈っております。

記事:池内(広報委員会)

令和元年度「貯水槽清掃作業従事者研修会」開催

令和元年11月15日(金)9:20～ 京都ビルメンテナンス協会 講習会場

令和元年11月15日(金)、貯水槽清掃作業従事者研修会が京都ビルメンテナンス協会 講習会場にて開催されました。

担当副会長の山本伸二副会長より開会の挨拶がなされ、研修会が開会されました。今年も京都府健康福祉部生活衛生課 手塚啓治 様による「建築物衛生法を中心とした関係法令について」の講義をいただきました。



続いて、京都府府民環境部、公営企画課 三宅英知様より「水と健康について」お話をいただきました。

続いて京都協会厚生労働省登録講師の濱口英久

氏、志田光則氏、深田巧美氏、井上洋氏より作業の安全と衛生についてのお話からはじまり、貯水槽清掃の方法、給水設備と設備機器、貯水槽の消毒方法、貯水槽の塗装方法について各講師より講義いただきました。

最後に、公益事業委員会 井上副委員長より閉会挨拶と修了証書が受講者に渡され講習会は終了いたしました。

長時間の研修にも関わらず、参加者全員が熱心に受講され、明日からの業務に役立てればとの思いを持っていただけたのではないかと感じました。

本研修会は、貯水槽清掃に従事する方々が1年に1度受講していただく大切な講習会ですので次年度の受講もよろしくお願い致します。

記事:山下(広報委員会)

第39回全国障害者技能競技大会(アビリンピック) 京都府代表 藤井優気選手

令和元年11月15日(金)～17日(日) 愛知県常滑市 愛知県国際展示場(SKY EXPO)

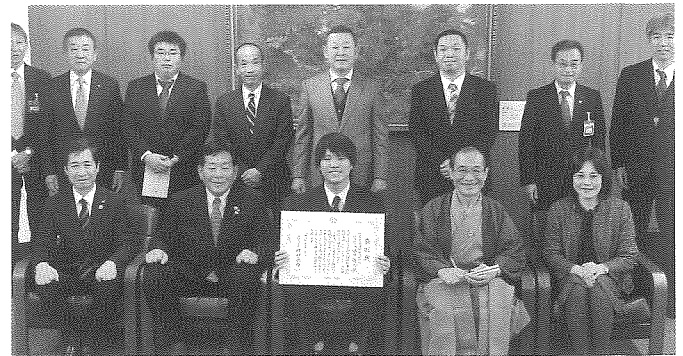
障害のある人が学校や職場で培った専門技術を競う全国障害者技能競技大会(アビリンピック)が愛知県で開催され、ビルクリーニング部門では45都道府県の代表46名で日本一を競いました。競技は「掃除機による繊維床清掃」と「ダスタークロスとモップによる弾性床清掃及び机上清掃」で、この二種の課題を制限時間内にいかに無駄なく綺麗に仕上げるかがポイントとなります。また、作業動作に無理がないことやあいさつなどサービス業としてのマナーも重要視されます。

藤井選手は午前中少し緊張した様子を見せながらも、大会直前のケガによる練習不足を感じさせないフットワークの軽さと長い手足を活かした堂々とした動きで、見事、銀賞を受賞されました。おめでとうございます。

京都の入賞はこれで8大会連続となり、指導や応援に携わってきた私たちにとって大きな喜びとなりました。12月には門川市長への表敬訪問も行い、当協会の活動が障害をもった方たちの可能

性を引き出す力添えになっていることを評価いただきました。そして、今回お世話になりました関係者の皆様、応援に駆けつけてくださった皆様、改めまして本当にありがとうございました。

記事:南部(事務局)



銀賞受賞者 藤井優気選手の感想



私が練習で一番難しかったことは、姿勢を正した状態をキープして糸ラゲをすることです。姿勢が崩れないように、何回も練習をしました。全国大会の2週間前に足のケガをしてしまい、思うように練習ができませんでした。その間は、後輩に教えたり、先輩が出場した動画を見たりして、練習ができない分イメージトレーニングを重ねました。

本番のカーペットでは、練習よりタイムが早く、姿勢も正した状態のまま作業をすることができました。午後の床では、タイムはゆっくりでしたが、とても丁寧に作業することができたので良かったです。私は、当日まですごく緊張して、自分の力が出せるのか不安でした。今回賞が取れたのは、学校の先生、友達や京都ビルメンテナンス協会の方々のご指導や応援のおかげです。ありがとうございます。賞をとったことですが、本番で「今までの練習の中でも1番」と思える力を発揮できたことで自分に自信が持てたので、これからの生活に活かしていきたいです。

ビルクリーニング技能検定 1級受検準備実技講習会

令和元年11月22日(金) 10:00~17:00 京都ビルメンテナンス協会 講習会場

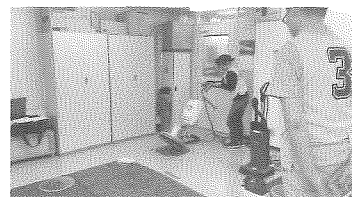
11月22日(金)10時より、京都ビルメンテナンス協会(公益事業委員会)主催による、ビルクリーニング技能検定 1級受検準備実技講習会が開催されました。今年度から1回あたりの講習時間を大幅に延長し、かつ少人数制にすることで、よりじっくり練習していただけるようになりました。

この日は弾性床表面洗浄作業を山崎講師、繊維系床部分洗浄作業を植西講師、壁面洗浄作業を浅野講師が担当されました。複数等級になったことで実技内容が大幅に変更され、1級にはカーペット洗浄と壁面洗浄が新たに加わっています。

講師の先生方の的確な指導とアドバイスにより、受講者の方々はみまると上達され、また皆さん汗だくになって練習に励んでおられました。

講習最後に山崎講師より、「一番受検日が早い方は、12月中に

実技試験を受検する。今回の講習会で指摘されたことをしっかりと復習して、試験に臨んで欲しい。また1月に受検する方においても油断していると忙しい年末にさしかかり、満足に練習が出来なくなるので、今のうちに手順をしっかりと覚えて練習に励んでください。」と話がありました。



今年度も複数回にわたり1級の準備実技講習会が京都協会で開催され、ビルクリーニング技能士1級 取得を目指す皆様を対象に実技試験の対策をしております。また来年も準備実技講習会を予定しておりますので、受検をお考えの方はぜひ申し込んで頂ければ幸いです。

記事: 渡守(広報委員会)

令和元年度「京しごと技能検定」

令和元年11月27日(水) 12:15~ 京都府伏見港公園体育館

令和元年11月27日(水)12時15分より「京しごと技能検定」が京都府伏見港公園体育館にて開催され、京都府立特別支援学校10校から175名の生徒が参加しました。今回の検定で4回目となり、協会より検定員として13名の方にご協力いただきました。ありがとうございます。

当検定は、府立特別支援学校の生徒による日頃の職業訓練の成果の発表の場となります。生徒の向上心を育てつつ就労につながるスキルの習得と、府民や企業からの理解と信頼を得ることで



雇用の促進を図ることを目的としています。回を追うごとに参加校及び人数が増えている、技能を披露するコートの数も、前年度より1つ増やされての開催となりました。当協会の活動が認知され、徐々に社会

に広まっていくことを実感できました。

検定の内容は、「単一型」乾式モップ・自在ほうき・タオルのいずれかの1種を行うタイプと、「複合型」乾式モップ・自在ほうき・タオルを一連の流れで行うタイプとに分かれており、検定員の評価結果に基づき認定証が授与されます。

検定の注意事項等の説明がなされたあと、参加生徒はそれぞれの検定を行うコートに移動し真剣に作業に取り組まれました。今回から検定員を務めることとなった先生方も、作業をされている生徒達も、みな緊張している様子で、作業終了後に拍手がわくと、双方から笑みがこぼれていました。

技能検定といった公の場で自分の努力に対する客観的な評価を得ることが、特別支援学校に通う生徒達の自信に繋がると良いと思います。京都ビルメンテナンス協会は、今後も就労支援活動を続けることで社会貢献をしていきたいと考えております。

記事: 藤井(広報委員会)

令和元年度「技能検定3級受検準備講習・ビルクリーニング初級実技講習開催」

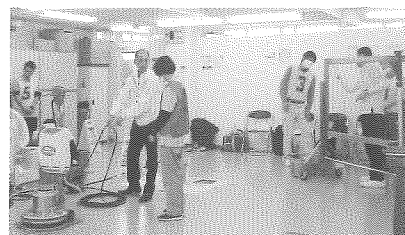
令和元年11月29日(金) 13:30~16:30 京都ビルメンテナンス協会 講習会場

11月29日(金)13時30分より、京都ビルメンテナンス協会(公益事業委員会)主催による、今年度最後の技能検定3級受検準備講習・ビルクリーニング初級実技講習が、5名の受講者と3名の講師により開催されました。

この日は弾性床清掃作業を井上講師、ガラス面洗浄作業を浅野講師、トイレ日常清掃作業を森講師が担当され、受験予定の方と初級実技講習のチームに分かれて進められました。

資機材は実際の試験と同じものが使用され、受験予定がない方も手順に沿って基本を学ばれました。道具の配置や使い方によって時短に繋がること、また次に何をすべきなのかを覚えることで抜けが無くなること等、真剣に練習に取り組んでおられました。また複数等級になってから新たに変わったトイレ清掃については、3級では日常清掃が試験の対象です。美観を保ちつつトイレ本体を傷

めない、そして衛生上最善と考えられる手順が指導され、これから清掃を始められる方にも大変参考になる内容です。



講習最後に森委員長より、「本日は清掃の基本をお教えしたので、この基本を日々の清掃に活かしていただければと思います。受験される方は、苦手なところを克服し試験に向けて練習に励んでいただき、合格目指して頑張ってください。」とお話がありました。

本日受講された方々そして講師の先生方、たいへんお疲れ様でした。

記事: 高寄(広報委員会)

令和元年度「京都ビルメンテナンス協会 新年賀詞交歓会」開催

令和2年1月10日(金) リーガロイヤルホテル京都

2020年、年頭を飾る恒例の(公社)京都ビルメンテナンス協会新年賀詞交歓会が、1月10日(金)リーガロイヤルホテル京都におきまして、伊吹衆議院議員・西脇京都府知事・門川京都市長を始め多くの来賓並びに会員企業様にご列席を賜り、盛大に開催されました。

まず下坊総務厚生委員長より司会の挨拶と開会宣言が行われ、藤井会長より「昨年は9社の協会員が増加したことを始め、外国人技能実習生の受入など京都協会として事業の充実を図っていきます」と年頭の挨拶がありました。続いて伊吹衆議院議員・西脇京都府知事・門川京都市長など、ご来賓の方々より障がい者の就労支援に対する取組や、アビリンピックにおける顕著な成績など、日頃の京都協会の積極的な活動や取組に対する謝辞を始め、祝辞を賜りました。

そして祝電披露、ご来賓の紹介に続き、第39回アビリンピックで見事に銀賞を受賞した、京都府代表の藤井優気さんに藤井会長より表彰状が授与されたのち、第13回ビルメンこども絵画コンクールで全国協会金賞テラモト賞を受賞した、洛南高等学校附属小学校田口夏衣さんに全国ビルメンテナンス協会一戸会長より表彰状が授与されました。

そして、一戸会長の乾杯のご発声により、華々しく開宴いたしました。今年も多くの方々にご参加を頂き、お互いに名刺交換や挨拶



をかわしながら、一年の健闘を誓いました。

また、宴の間には「ビルメンこども絵画コンクール入選作品」がスクリーンにて披露されました。宴もすすみ、中締め挨拶として京都ビルメンテナンス協会山本副会長より一年の願いをこめた力強い言葉があり、協会並びに会員各社の益々の繁栄を祈念して、今年の新賀詞交歓会はお開きになりました。

記事:渡守(広報委員会)



2020年 新年賀詞交歓会

公益社団法人 京都ビルメンテナンス協会・京都ビルメンテナンス政治連盟



KBMA Information

[1月から3月の予定]

【公益事業委員会】

- ビルクリーニング技能検定 実技講習1級
- ・1月15日 協会事務局 講習会場
- アビリンピック京都大会出場者練習会
- ・1月21日 協会事務局 講習会場
- 第17回アビリンピック京都大会
- ・2月1日 京都府立京都高等技術専門学校

【広報委員会】

- KBMAニュースVol.88(冬号)
- ・1月発行予定

【総務厚生委員会】

- 新年賀詞交歓会
- ・1月10日 リーガロイヤルホテル京都

会員の變更事項

●代表者及び事業所名変更

- 日本管財株式会社 京都支店
- 代表者/京都支店長 永田大蔵氏

(2019年4月1日付)

KBMA
京都ビルメンニュース

第88号(2020年冬号)

Kyoto Building Maintenance Association News

編集人:広報委員会 委員長:山下耕平 発行人:藤井 忍
発行所:公益社団法人 京都ビルメンテナンス協会
〒612-8419
京都市伏見区竹田北三ツ杭町45番地 アイビービル2A
TEL:075-606-1258 FAX:075-606-1259
ホームページ <http://www.kyoto-bma.or.jp/>

ビルメンテナンスのプロ集団に
仲間入りしませんか?

私たちは多くの企業様の加入をお待ちしています。
詳しくはホームページをご覧頂くか、協会事務局までご連絡なく
お問い合わせください。